

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 自己啓発 | 福澤諭吉伝 (6)

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

教育カリキュラム

日本国憲法

福澤諭吉伝 (6)

尊皇倒幕の密約を結んだ「薩長同盟」により、1867年、15代將軍「徳川慶喜」は政権を朝廷に返上しました。

大政奉還です。

これにより徳川幕府は幕を閉じます。

諭吉はいち早く新しい時代の始まりを予知し、戦争の恐怖におののく江戸の町（芝）に大きな建物を建て始めます。

これが慶應義塾大学の始まりです。

1870年、35歳になった諭吉は、塾生も増え、手狭になった校舎をなんとかしようと思いました。

暇があると市内の空き地を探し回り、芝の三田にある島原藩の中屋敷のあとに目を付けます。

そこで、東京府から依頼されていたヨーロッパの警察制度の調査を引き受ける代わりに、その見返りとして島原藩の跡地を借りることとしました。

そこに建てられた立派な校舎が今の慶應義塾大学です。

諭吉36歳の時でした。

翌1872年、諭吉は暇を見つけては書き記してきた「学問のすすめ」を出版しました。

「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」、この本をはじめて手に取った者はみな、新しい時代の到来を高らかに謳い上げる冒頭の一節に、大きな衝撃を受けました。

身分社会が長く続いた我が国にあって、どこにこのような平等思想を声高に叫ぶ人間がいたでしょうか。

この本は、新しい日本はどうあればよいのかと考える人々の間でむさぼるように読まれ、1876年までに17篇が書き綴られました。

「学問のすすめ」は、小学校の教科書としても使われるようになります。

「学問のすすめ」をきっかけとして庶民の学習熱も高まり、西洋文化の受け入れが進んでいったことで、国民全体の急速な文明開化が実現していきます。

それと同時に、権利意識に対する目覚めは政治への関心呼び起こし、やがてそれは後の自由民権運動へとつながっていきます。

(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🗺️ サイトマップ 📄 このサイトについて 🛡️ 個人情報保護の取組みについて

🏠 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.